

平成 2 5 年 度  
決 算 報 告 書

( 第 4 9 期      平成 2 5 年 4 月 1 日 )  
                  平成 2 6 年 3 月 3 1 日

# 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,772,340,061	4,171,194,456	601,145,605
貸付金	18,294,509,125	19,141,927,125	△ 847,418,000
立替金	3,100,000	1,400,000	1,700,000
前払金	1,500	1,500	0
前払費用	430,407	49,600	380,807
未収金	274,514,340	220,208,394	54,305,946
貸倒引当金	△ 898,795,000	△ 1,068,981,000	170,186,000
流動資産合計	22,446,100,433	22,465,800,075	△ 19,699,642
2 固定資産			
(1) 基本財産			
預 金	770,000	770,000	0
投資有価証券	239,230,000	239,230,000	0
基本財産合計	240,000,000	240,000,000	0
(2) 特定資産			
融資システム移行費用積立資産	0	51,240,000	△ 51,240,000
サーバ機器購入積立資産	0	21,945,000	△ 21,945,000
特定資産合計	0	73,185,000	△ 73,185,000
(3) その他固定資産			
建 物	1,102,457	1,336,779	△ 234,322
什器備品	14,263,814	1,220,029	13,043,785
電話加入権	34,000	34,000	0
ソフトウェア	5,015,500	8,537,500	△ 3,522,000
投資有価証券	1,207,687,000	1,207,687,000	0
長期前払費用	896,867	169,467	727,400
前払年金費用	11,949,644	16,123,661	△ 4,174,017
その他の固定資産	0	150,000	△ 150,000
その他固定資産合計	1,240,949,282	1,235,258,436	5,690,846
固定資産合計	1,480,949,282	1,548,443,436	△ 67,494,154
資 産 合 計	23,927,049,715	24,014,243,511	△ 87,193,796
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	5,878,994	12,036,873	△ 6,157,879
未払法人税等	23,700	23,700	0
未払消費税等	33,500	40,500	△ 7,000
前受金	20,611,120	21,350,580	△ 739,460
預り金	15,333,320	19,136,104	△ 3,802,784
1年内返済予定長期借入金	23,600,000,000	23,600,000,000	0
賞与引当金	18,413,851	18,349,548	64,303
流動負債合計	23,660,294,485	23,670,937,305	△ 10,642,820
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負 債 合 計	23,660,294,485	23,670,937,305	△ 10,642,820
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	246,755,230	323,306,206	△ 76,550,976
(うち基本財産への充当額)	(220,000,000)	(220,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(73,185,000)	(△73,185,000)
正味財産合計	266,755,230	343,306,206	△ 76,550,976
負債及び正味財産合計	23,927,049,715	24,014,243,511	△ 87,193,796

# 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,730,192	4,689,534	△ 959,342
② 事業収益	605,455,632	611,618,860	△ 6,163,228
経営活性化貸付金利息	443,480,841	468,053,588	△ 24,572,747
創業・事業展開支援貸付金利息	25,526,278	27,870,194	△ 2,343,916
商店街活性化貸付金利息	1,307,060	1,080,276	226,784
ものづくり設備導入貸付金利息	2,300,458	2,983,665	△ 683,207
経営支援貸付金利息	1,178,356	1,493,945	△ 315,589
償却債権回収金	130,862,639	109,337,192	21,525,447
名古屋市内設備投資促進補助事業 受託料	800,000	800,000	0
③ 受取補償金	261,310,950	206,529,050	54,781,900
損失補償金	261,310,950	206,529,050	54,781,900
④ 雑収益	18,968,007	23,532,098	△ 4,564,091
経常収益計	889,464,781	846,369,542	43,095,239
(2) 経常費用			
① 事業費	918,262,520	768,898,384	149,364,136
人件費	246,353,502	271,617,674	△ 25,264,172
物件費	111,388,676	60,856,711	50,531,965
借入金利息	150,015,342	93,039,999	56,975,343
貸倒引当金繰入額	410,505,000	343,384,000	67,121,000
② 管理費	47,753,237	49,044,038	△ 1,290,801
人件費	39,048,921	40,238,893	△ 1,189,972
物件費	8,704,316	8,805,145	△ 100,829
経常費用計	966,015,757	817,942,422	148,073,335
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	△ 76,550,976	28,427,120	△ 104,978,096
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) (A+B)	△ 76,550,976	28,427,120	△ 104,978,096
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産除却損	0	8,058	△ 8,058
経常外費用計	0	8,058	△ 8,058
当期経常外増減額 (D)	0	△ 8,058	8,058
当期一般正味財産増減額 (E) (C+D)	△ 76,550,976	28,419,062	△ 104,970,038
一般正味財産期首残高 (F)	323,306,206	294,887,144	28,419,062
一般正味財産期末残高 (G) (E+F)	246,755,230	323,306,206	△ 76,550,976
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	320,000	462,027	△ 142,027
② 一般正味財産への振替額	△ 320,000	△ 462,027	142,027
当期指定正味財産増減額 (H)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (I)	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産期末残高 (J) (H+I)	20,000,000	20,000,000	0
III 正味財産期末残高 (K) (G+J)	266,755,230	343,306,206	△ 76,550,976

# 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	3,730,192	3,730,192
基本財産運用益	0	3,410,192	3,410,192
基本財産運用益振替額	0	320,000	320,000
② 事業収益	561,515,308	43,940,324	605,455,632
経営活性化貸付金利息	402,350,517	41,130,324	443,480,841
創業・事業展開支援貸付金利息	23,159,278	2,367,000	25,526,278
商店街活性化貸付金利息	1,186,060	121,000	1,307,060
ものづくり設備導入貸付金利息	2,087,458	213,000	2,300,458
経営支援貸付金利息	1,069,356	109,000	1,178,356
償却債権回収金	130,862,639	0	130,862,639
名古屋市設備投資促進補助事業受託料	800,000	0	800,000
③ 受取補償金	261,310,950	0	261,310,950
損失補償金	261,310,950	0	261,310,950
④ 雑収益	18,885,286	82,721	18,968,007
受取利息	18,597	0	18,597
有価証券運用益	18,866,000	0	18,866,000
雑収益	689	82,721	83,410
経常収益計	841,711,544	47,753,237	889,464,781
(2) 経常費用			
① 事業費	918,262,520		918,262,520
(人件費)	246,353,502		246,353,502
給料手当	191,779,251		191,779,251
通勤手当	4,657,141		4,657,141
退職給付費用	14,621,112		14,621,112
福利厚生費	35,295,998		35,295,998
(物件費)	111,388,676		111,388,676
調査費	2,975,693		2,975,693
施策普及費	1,738,743		1,738,743
債権管理費	11,125,349		11,125,349
委託費	50,671,319		50,671,319
会議費	667,755		667,755
旅費交通費	189,667		189,667
通信費	2,554,352		2,554,352
水道光熱費	1,349,577		1,349,577
燃料費	365,440		365,440
消耗品費	926,836		926,836
租税公課	6,370,758		6,370,758
賃借料	16,849,897		16,849,897
印刷費	703,654		703,654
図書費	672,258		672,258
保険料	303,800		303,800
支払手数料	1,698,040		1,698,040
研修費	398,085		398,085
雑費	21,548		21,548
減価償却費	11,805,905		11,805,905
(借入金利息)	150,015,342		150,015,342
借入金利息	150,015,342		150,015,342
(貸倒引当金繰入額)	410,505,000		410,505,000
貸倒引当金繰入額	410,505,000		410,505,000

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
	融資事業		
② 管理費		47,753,237	47,753,237
(人件費)		39,048,921	39,048,921
役員報酬		15,943,380	15,943,380
給料手当		15,441,913	15,441,913
通勤手当		803,331	803,331
退職給付費用		1,083,357	1,083,357
福利厚生費		5,776,940	5,776,940
(物件費)		8,704,316	8,704,316
委託費		875,879	875,879
会議費		79,721	79,721
旅費交通費		44,264	44,264
通信費		364,127	364,127
水道光熱費		238,161	238,161
消耗品費		146,249	146,249
租税公課		473,835	473,835
修繕費		4,762	4,762
賃借料		2,661,591	2,661,591
接待交際費		9,524	9,524
印刷費		161,210	161,210
図書費		122,224	122,224
支払手数料		3,343,258	3,343,258
研修費		47,648	47,648
雑費		65,231	65,231
減価償却費		66,632	66,632
経常費用計	918,262,520	47,753,237	966,015,757
評価損益等調整前当期経常増減額 (A)	△ 76,550,976	0	△ 76,550,976
評価損益等計 (B)	0	0	0
当期経常増減額 (C) <A+B>	△ 76,550,976	0	△ 76,550,976
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額 (D)	0	0	0
他会計振替額 (E)	0	0	0
当期一般正味財産増減額 (F) <C+D+E>	△ 76,550,976	0	△ 76,550,976
一般正味財産期首残高 (G)	98,867,973	224,438,233	323,306,206
一般正味財産期末残高 (H) <F+G>	22,316,997	224,438,233	246,755,230
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益	0	320,000	320,000
基本財産運用益	0	320,000	320,000
② 一般正味財産への振替額	0	△ 320,000	△ 320,000
一般正味財産への振替額	0	△ 320,000	△ 320,000
当期指定正味財産増減額 (I)	0	0	0
指定正味財産期首残高 (J)	0	20,000,000	20,000,000
指定正味財産期末残高 (K) <I+J>	0	20,000,000	20,000,000
III 正味財産期末残高 (L) <H+K>	22,316,997	244,438,233	266,755,230

# キャッシュ・フロー計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1 当期一般正味財産増減額 (A)	△ 76,550,976	28,419,062	△ 104,970,038
2 キャッシュ・フローへの調整額			
① 減価償却費	11,872,537	5,074,029	6,798,508
② 固定資産除却損	0	8,058	△ 8,058
③ 貸倒引当金の増減額	△ 170,186,000	△ 246,699,000	76,513,000
④ 前払年金費用の増減額	4,174,017	151,838	4,022,179
⑤ 賞与引当金の増減額	64,303	115,432	△ 51,129
⑥ 貸付金の増減額	847,418,000	1,355,420,750	△ 508,002,750
⑦ 立替金の増減額	△ 1,700,000	900,000	△ 2,600,000
⑧ 前払金の増減額	0	△ 500	500
⑨ 前払費用の増減額	△ 380,807	△ 49,600	△ 331,207
⑩ 未収金の増減額	△ 54,305,946	△ 57,457,229	3,151,283
⑪ 長期前払費用の増減額	△ 727,400	△ 169,467	△ 557,933
⑫ その他の固定資産の増減額	150,000	0	150,000
⑬ 未払金の増減額	△ 6,157,879	4,909,021	△ 11,066,900
⑭ 未払法人税等の増減額	0	△ 1,300	1,300
⑮ 未払消費税等の増減額	△ 7,000	△ 278,300	271,300
⑯ 前受金の増減額	△ 739,460	△ 1,071,702	332,242
⑰ 預り金の増減額	△ 3,802,784	126,456	△ 3,929,240
⑱ 指定正味財産からの振替額	△ 320,000	△ 462,027	142,027
小 計 (B)	625,351,581	1,060,516,459	△ 435,164,878
3 指定正味財産増加収入			
① 基本財産運用収入	320,000	462,027	△ 142,027
指定正味財産増加収入計 (C)	320,000	462,027	△ 142,027
事業活動によるキャッシュ・フロー (D) <A+B+C>	549,120,605	1,089,397,548	△ 540,276,943
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入			
融資システム移行費用積立資産取崩収入	51,240,000	0	51,240,000
サーバ機器購入積立資産取崩収入	21,945,000	0	21,945,000
② 3ヶ月超定期預金満期収入	70,000,000	70,000,000	0
投資活動収入計	143,185,000	70,000,000	73,185,000
2 投資活動支出			
① 固定資産取得支出	21,160,000	4,011,000	17,149,000
② 特定資産取得支出			
融資システム移行費用積立資産取得支出	0	51,240,000	△ 51,240,000
サーバ機器購入積立資産取得支出	0	21,945,000	△ 21,945,000
③ 3ヶ月超定期預金預入支出	70,000,000	70,000,000	0
投資活動支出計	91,160,000	147,196,000	△ 56,036,000
投資活動によるキャッシュ・フロー (E)	52,025,000	△ 77,196,000	129,221,000
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 財務活動収入			
① 借入金収入	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動収入計	23,600,000,000	23,600,000,000	0
2 財務活動支出			
① 借入金返済支出	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動支出計	23,600,000,000	23,600,000,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー (F)	0	0	0
IV 現金及び現金同等物の増減額 (G) <D+E+F>	601,145,605	1,012,201,548	△ 411,055,943
V 現金及び現金同等物の期首残高 (H)	4,101,194,456	3,088,992,908	1,012,201,548
VI 現金及び現金同等物の期末残高 (I) <G+H>	4,702,340,061	4,101,194,456	601,145,605

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券については、償却原価法（定額法）によっている。ただし、額面と取得価額の差額に重要性が乏しい場合、取得価額で記載している。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産  
定率法によっている。
- ・無形固定資産  
定額法によっている。

### (3) 引当金の計上基準

- ・貸倒引当金  
貸倒引当金は、個別評価債権と一般債権に分類し、過去の一定期間における各々の貸倒実績率等に基づき算出した額から、名古屋市による貸倒償却に対する損失補償割合を控除して計上している。
- ・退職給付引当金  
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。
- ・賞与引当金  
職員の賞与の支給等に備えるため、賞与支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

### (4) リース取引の処理方法

重要性の乏しいリース取引以外については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっている。なお、リース契約日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

### (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

### (6) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	770,000	0	0	770,000
投資有価証券	239,230,000	0	0	239,230,000
小 計	240,000,000	0	0	240,000,000
特定資産				
融資システム移行費用積立資産	51,240,000	0	51,240,000	0
サーバ機器購入積立資産	21,945,000	0	21,945,000	0
小 計	73,185,000	0	73,185,000	0
合 計	313,185,000	0	73,185,000	240,000,000

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味 財産からの充当額	うち一般正味 財産からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	770,000	(0)	(770,000)	—
投資有価証券	239,230,000	(20,000,000)	(219,230,000)	—
合 計	240,000,000	(20,000,000)	(220,000,000)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建物	4,705,100	3,602,643	1,102,457
什器備品	37,686,700	23,422,886	14,263,814
無形固定資産			
ソフトウェア	19,950,000	14,934,500	5,015,500
合 計	62,341,800	41,960,029	20,381,771

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
地方債(名古屋市平成16年度第1回事業公債)	130,000,000	131,053,000	1,053,000
地方債(名古屋市第12回し号公募公債)	109,230,000	111,474,000	2,244,000
小 計	239,230,000	242,527,000	3,297,000
投資有価証券			
地方債(名古屋市第12回し号公募公債)	297,900,000	304,020,000	6,120,000
地方債(名古屋市平成17年度第2回事業公債)	200,000,000	208,124,000	8,124,000
地方公社債(第84回名古屋高速道路債券)	709,787,000	716,411,300	6,624,300
小 計	1,207,687,000	1,228,555,300	20,868,300
合 計	1,446,917,000	1,471,082,300	24,165,300

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
損失補償金	名古屋市	206,529,050	261,310,950	206,529,050	261,310,950	未収金
合 計		206,529,050	261,310,950	206,529,050	261,310,950	—

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	金 額
経常収益への振替額	
基本財産運用益振替額	320,000
合 計	320,000

8 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は、次のとおりである。

(単位：円)

前 期 末		当 期 末	
現金預金勘定	4,171,194,456	現金預金勘定	4,772,340,061
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 70,000,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△ 70,000,000
現金及び現金同等物	4,101,194,456	現金及び現金同等物	4,702,340,061

(2) 重要な非資金取引

該当なし



## 9 退職給付関係

### (1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度及び確定給付企業年金制度を設けている。

### (2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

① 退職給付債務	△ 361,255,049
② 年金資産	373,204,693
③ 前払年金費用	11,949,644
④ 退職給付引当金 (①+②-③)	0

### (3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

① 勤務費用	15,704,469
② 退職給付費用	15,704,469

### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

## 10 ファイナンス・リース取引関係

### (1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

	什器備品
取得価額相当額	31,653,832
減価償却累計額相当額	31,653,832
期末残高相当額	0

### (2) 当期の支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位：円)

支払リース料	557,180
減価償却費相当額	527,733
支払利息相当額	1,163

### (3) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

### (4) 利息相当額の算定方法は、リース料総額とリース資産計上価額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっている。

## 附属明細書

### 1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、財務諸表に対する注記2に記載しているため、内容の記載を省略する。

### 2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	18,349,548	18,413,851	18,349,548	0	18,413,851
貸倒引当金	1,068,981,000	410,505,000	580,691,000	0	898,795,000

# 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金			
	〈現金〉	○融資事業 手元保管	運転資金として	110,392
	〈当座預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行今池支店 1口	運転資金として	54,751,994
	〈普通預金〉	○融資事業 三菱東京UFJ銀行柳橋支店始め8口	運転資金として	4,639,004,598
		○法人会計 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	運転資金として	4,287,075
	〈郵便振替〉	○融資事業 ゆうちょ銀行 1口	運転資金として	4,186,002
	〈定期預金〉	○融資事業 名古屋銀行本店始め7口	運転資金として	70,000,000
			〈現金預金計〉	4,772,340,061
	貸付金	○融資事業 経営活性化資金融資 4,376件 (うち特別支援資金 8件 8,003,000円)	経営活性化資金融資の残高	16,914,344,000
		創業・事業展開支援資金融資 353件	創業・事業展開支援資金融資の残高	946,385,000
		商店街活性化促進資金融資 12件	商店街活性化促進資金融資の残高	115,191,000
		ものづくり設備導入資金融資 60件 (うち特別資金 43件 190,516,000円) (うち機械類貸与 15件 86,927,125円)	ものづくり設備導入資金融資の残高	295,071,125
		経営支援特別資金融資 32件	経営支援特別資金融資の残高	23,518,000
			〈貸付金計〉	18,294,509,125
	立替金	○融資事業 名古屋地方裁判所	相続財産管理人選任予納金等	3,100,000
	前払金	○融資事業 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	500
		○法人会計 名古屋市交通局	マナカ発行保証金	1,000
			〈前払金計〉	1,500
	前払費用	○融資事業 (株)富士通マーケティング 他	基幹サーバ及び開発用サーバ保守料等	364,407
		○法人会計 全国公益法人協会	年間購読料前払い	66,000
		〈前払費用計〉	430,407	
未収金	○融資事業 名古屋市	損失補償金及び 設備投資促進補助事業受託料の未収入額	262,150,950	
	未収利息 662件 名古屋市公債始め3銘柄	経営活性化資金融資等の未収利息 名古屋市公債始め3銘柄の経過利息	7,110,991 4,293,057	
	○法人会計 名古屋市公債始め2銘柄	名古屋市公債始め2銘柄の経過利息	959,342	
		〈未収金計〉	274,514,340	
貸倒引当金	○融資事業	貸付金の貸倒に備るための引当金	△ 898,795,000	
<b>流動資産合計</b>			<b>22,446,100,433</b>	
(固定資産) 基本財産	預 金			
	〈定期預金〉	○法人会計 三菱東京UFJ銀行柳橋支店 1口	運用益を管理運営の財源として使用している	770,000
	投資有価証券	○法人会計 名古屋市平成16年度第1回事業公債 始め2銘柄	運用益を管理運営の財源として使用している	239,230,000
			〈基本財産計〉	240,000,000
	その他 固定資産	建 物		
	○融資事業、法人会計共用 名古屋市千種区吹上二丁目6番3号 5階 〈建物附属設備〉 5階事務室改装 1点	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している	937,077 165,367	
	○融資事業 〈建物附属設備〉 簡易間仕切始め4点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	12	
	○法人会計 〈建物附属設備〉 簡易間仕切 1点	管理運営に使用している	1	
		〈建物計〉	1,102,457	

(単位:円)


貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
什器備品	○融資事業、法人会計共用 耐火金庫始め17点	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している	453,586	
			80,044	
	○融資事業 耐火金庫始め14点	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	13,730,172	
	○法人会計 事務机始め12点	管理運営に使用している	12	
		<什器備品計>	14,263,814	
	電話加入権	○融資事業、法人会計共用 電話回線17本	(共用財産) うち85%を公益目的保有財産として 融資事業に使用している うち15%を管理運営に使用している	28,900
				5,100
			<電話加入権計>	34,000
	ソフトウェア	○融資事業 コンピュータ制作費 4件	公益目的保有財産として融資事業に 使用している	5,015,500
	投資有価証券	○融資事業 名古屋市第12回し号公募公債 始め3銘柄	運用益を融資事業の財源として使用 している	1,207,687,000
長期前払費用	○融資事業 株富士通マーケティング	基幹サーバ及び開発用サーバ保守料	896,867	
前払年金費用	○融資事業 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	10,992,442	
		○法人会計 日本生命保険相互会社	退職給付会計による確定給付企業 年金制度の年金資産超過額	957,202
		<前払年金費用計>	11,949,644	
固定資産合計			1,480,949,282	
資産合計			23,927,049,715	
(流動負債)				
未払金	○融資事業 業者等に対する未払額 ○法人会計 業者等に対する未払額	3月分事務室共益費・電気料等	4,728,434	
		3月分振込手数料等	1,150,560	
		<未払金計>	5,878,994	
未払法人税等	○法人会計 平成25年度法人市民税の未払額	平成25年度法人市民税納付額	23,700	
未払消費税等	○融資事業 平成25年度消費税等の未払額 ○法人会計 平成25年度消費税等の未払額	平成25年度消費税等納付額	30,137	
		平成25年度消費税等納付額	3,363	
		<未払消費税等計>	33,500	
前受金	○融資事業 未経過利息 3,404件	経営活性化資金融資等の未経過利息	20,611,120	
預り金	○融資事業 預り保証金 融資事業の預り金 職員等からの預り金	機械類貸与の預り保証金	8,481,000	
		貸付償還金の少額過納金等	5,970,020	
		3月分住民税	882,300	
		<預り金計>	15,333,320	
1年内返済予定 長期借入金	○融資事業 名古屋市	融資事業のための借入金	23,600,000,000	
賞与引当金	○融資事業 職員に対するもの ○法人会計 職員に対するもの	融資事業に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額	16,911,390	
		法人会計に従事する職員に対する賞与 支給見込額等のうち当期に帰属する額	1,502,461	
		<賞与引当金計>	18,413,851	
流動負債合計			23,660,294,485	
固定負債合計			0	
負債合計			23,660,294,485	
正味財産			266,755,230	

# 監査報告書

平成26年5月14日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社  
理事長 斯波 薫 様

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社

監事 加藤博久 

私は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度の監査を行いましたので、その方法及び結果について以下のとおり報告します。

## 1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、法人の業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる事業報告について検討しました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第42条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度にかかる計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について検討しました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書の内容は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュ・フロー計算書の監査結果

会計監査人後藤貞明公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

## 独立監査人の監査報告書

平成 26 年 5 月 9 日

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社  
理事長 斯波 薫 殿

後藤公認会計士事務所  
公認会計士

後藤貞明



### <財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社の平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

### 財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### <財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人の平成 26 年 3 月 31 日現在の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

### 財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財産目録を作成することにある。

### 監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

### 財産目録に対する意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、貸借対照表及び公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

### 利害関係

公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上